

(長閑注記<sup>1</sup>)  
第四号十一月一日(長閑注記<sup>3</sup>)

益御壯健可有之大慶此事ニ候私至極無異九月一日以来呈書不致故嘸御案も被下候へん実ハ其頃より少々旅行致知己朋友エの書を認入学手続等にて不知不識御疎濶に相過誠に御申訳無之候併諺に無事に無便と申通に候間少々御無音之節も御案被下間敷候当府并近隣に御国人二十人計も居候故土日曜日等にハ互ニ訪尋雑話仕大に慰に成非常之事有之共決して心配無之殊に医学生も有之故病氣之節ハ調法なるへし九月十日に当府を出立汽車にて六時間を費し「ニー、ハンプシエヤ」州<sup>北隣州ナリ</sup>「ハーバル」と云所に着此所ハ英膺公御留学の地に候直に御尋申たる所至極御喜敷骨格逞血色も至テ宜故大に安心仕候三日間始終私之旅館に御尋被下御寄寓所を奉訪久振緩ニ御勸話実に愉快に候偶には帰郷の念不起哉ト尋上候所決て無之只蒲焼鰻ハ思郷の種と之御答にて大に笑を催候彼地の家数百不足にて至て辺卑の町に候得共学校ハ旧より建たる家にて頗る善学校に候併北方故寒氣ハ嚴雪ハ盛岡辺よりハ頓と深由今月二十五日の国祭にハ当府に御出を約して帰候爾来日曜日毎に知人への書を認且入学を周旋し頗ル繁多漸十月十日より開校に相成日に二時間宛講義を聞候開成学校の日課時間に比すれハ二時間少候得共勉勵の仕方ハ違故閑暇ハ

無之候教師の学識教授方等ハ頗宜当今ハ米国法律学校中の第一等なる由同校生ハ格別年齢の違も無之共遙に年長の様に見得大概皆鬚面故父老と一所に学問する如候書生中<sup>凡百人ナリ</sup>にハ黒人二人有執も私共よりハ先覚と見得候只今の寓所ハ学校に近寄留所にて斎藤氏<sup>同行人ノ一人ナリ</sup>同居<sup>部屋ハ違共</sup>し同校に通候教授料ハ一学歳百弗寄宿料一週に八弗洗濯代一月三弗是丈是非散財其外雜費等を合セ極儉約して五拾弗ハ入用ニ候書生ハ月に五十弗入候云ハハ日本にてハ大に可驚併右ハ尤安積なり此頃鳶合羽の如物を持たる所四十五弗被取候物価の貴にハ私共さへ驚入候羅紗抔ハ別て運上の高為なり」人民ハ一体活潑にて能働物価ハ貴故營生の道も難立故日本の如諸職人人足等も烟草茶を飲て始終休事ハ不致銘々働為た金財て一家を建一旦職業に就たる上ハ両親の厄介に不成風習之所活計ハ斯六ヶ敷故容易に婚礼も不出来独身者ハ沢山有様なり此に比すれハ日本ハ近来物価騰貴て難波とハ云共營業ハ誠易様に被思候彼等の性質物事を問尋に実に根強日本人の積らぬ事笑敷事と思事もしつこく聞糺なり夫丈発明等も沢山出来有と感候惜哉日本人にハ此氣質薄候金錢を貴事漸に聞し如甚し二人寄て談すれハ必弗<sup>必</sup>の字か這入なり世上ハ前に述たる如故自然此風俗も起なり自国ハ開化国にて学芸職業一般ハ自国て足故か外国の事を知者割合に少し併深く学問する者ハ皆米国より英吉利日耳曼<sup>セルマン</sup>に洋行留学するなり<sup>日本人ハ米国に遊カ如シ</sup>又諸物品の善分ハ輸入にて自国製と云ハ少しく悪欧州より舶来と云ハ善品と極居丁度日本唐物店に是ハ舶来に彼ハ日本出来と云て善悪を分と同なり国ハ新故欧州に比すれハ田舎なり物事総て広大なれ共細敷

美麗少し緻密精ニなれ共風雅と云事なし譬ハ家屋も広大にて宮殿かと之格程なれ共茶湯座敷の如物なし機械製造ハ行届共手細具ハ実に拙なし日本の細具物を見てハ驚なり譬ハ机筆筒杯の拵ハ極て拙なり当前の智識ハ随分一般に行届如し。」当府の市街ハ余り綺麗ならず馬糞杯ハ随分落着有併家屋大概三階にて殊に日本の三階よりハ遙に高街衢ハ薄暗日本ニ比スレハ位なり道ハ皆石切ヲ敷両側に必人道あり牛乳売魚肉野菜売荷物運送方氷屋ても薪屋ても総て馬車にて分配する故人道か無れハ甚危し人道にハ屋台見世杯無故往来自由なり石炭油を灯事無皆瓦斯を家々に引て用井戸なく随て水を汲事なし石で積上た大水溜あり是より管にて戸々に水を引水切の恐なし三階ても四階ても水ハ上る湯て大概の家にハ一日有食事ハ朝昼ハ牛鶏肉等を食夜食ハ茶と号し茶

にパン野菜又ハ菓子位にて済なり是俗にても人民の働事ハ可知何となれハ夜ハ不働故小食なるなり婦女ハ六七位迄ハ学校に行当府ハ米國中指折なれ共東東の四分一も不広壁戸に楽書ハなし新聞の公布に出して嫁を求聲を尋る」是等ハ日本の風俗に異物なり禁酒論女權論法を以て教育を強論杯ハ追々盛に成紙幣を金貨に換論紙幣を増論重き保護税ノ製造ヲ盛ニスル方論杯ハ政事上の議事なり」勉強の余暇にハ宰判所に行或ハ夜間高名の政事家学者能弁家奏学家の演説演芸を見聞す是ハ日本の寄寄なれ共話家や講釈師の類に非聞者の為に成事多日曜日にハ度々寺に行て見私共ハ定たる宗旨ハ無故一日ハ一寺一日ハ他寺に行色々見物セリ旧教と唱宗旨にてハ儀式違仏法の式に似タリ土人ハ必ず寺に行共眞の信者ハ少く若者ハ仕方參か美人の顔を詠に行かと被

思矢張翁ヤ婆ならてハ難有思ハぬと見得る一体邪蘇ハ神の子と教共近来一派起是ハ教文の中の怪分ハ不信邪蘇も矢張人間なり之説略孔孟風あり此新派追々盛に成」此頃新聞紙にて七八月盛岡辺洪水有たる由を見たり別段水損も無之哉釜石と鉾山の間鐵道出来候新聞條例にて新聞屋ハ大分罰セラれた様子不幸と云へし未タ尊書を拝読セす御遣之手続如何に御決定被成候哉と案上居候前便申上たる如河上氏ハ私の親友決して御遠慮被成間敷候同人よりも未タ手紙を不請取候誰も日本より未タ一度も書を請取者なし此度の便にて可来と考候横濱出發の船便ハ大凡中旬にハ毎月可有之間御心得迄申上置候頓首

御尊父様閣下

再啓皆様難有も私を□□□□間□□□□なり□□□□□□候併私而已□敷候ても不積依て□皆様別而御□様□御面倒にハ可有之候得共御養生第一に被成下度偏に奉願上候当地ハ最早寒氣も催随分朝晩にハ寒し併私の部屋ハ蒸氣にて緩故誠に宜程の温度を得□に薪炭を焼付世話なくニヂを廻而已にて□故大に調法なり

(注記)

「運送の使番たるにハ驚なり」

(長閑注記1)

「明治八乙亥年」

(長閑注記2)

「日数五十日ニ而達シ」

(長閑注記3)

(朱書)「十二月廿三日達シ明治九年一月十一日返書出し」